

国際モダンホスピタルショウ2026出展のお知らせ 病院のデータを活用し業務を楽に“働くAI”を展示 IT専任スタッフ不在の小規模病院でも導入可能

「医療DXで可能性と安心を広げる」をビジョンに掲げ、DXコンサルティング事業等を展開する株式会社Care Bridge（本社：長野県長野市、代表取締役：小畑 貴志、以下「当社」）は、2026年7月8日(水)～10日(金)に東京ビッグサイトにて開催される「国際モダンホスピタルショウ2026」に出展いたします。



国際モダンホスピタルショウ2025 展示ブースにて

■ AI搭載・カスタマイズ対応・コスト削減 ニーズに応じて3つのシステムを紹介

国際モダンホスピタルショウ2026におけるテーマは「共創が拓く 健康・医療・福祉の未来 ～人とテクノロジーが築く安心社会～」です。当社は、健康福祉社会の発展に寄与することを目的に、国際モダンホスピタルショウ2026に出展することといたしました。

当社の展示ブースでは、「働くAIカルテ AIを病院の新戦力へ」をスローガンに掲げ、病院内のデータを正確に収集・活用するために開発された病院基幹システム「HAMIS(ハミス)」と、音声認識特化のAIで業務を効率化する電子カルテ「AI-HAMIS（エーアイ・ハミス）」を展示いたします。

■ 展示製品

【AI-HAMIS】

AI-HAMISとは、病院現場・患者・経営の「三方良し」を実現する、AIエージェント搭載の「AIカルテ」です。病院業務データを一元管理できるシステム「HAMIS」に、音声認識に強いAI機能「Puzzle Gen(パズルジェン)」を搭載。音声認識AIによる記録業務の効率化に加え、HAMISが保有する診療・看護・健診・病床管理など院内の幅広いデータを活用できることが特長です。

そのため、単なる文書作成支援にとどまらず、

- ・過去カルテの要約やカルテ自動作成による診療時間短縮
- ・患者の診療待ち時間の短縮
- ・看護記録・引継ぎ文書の自動作成による業務負担軽減
- ・診療件数・病床稼働率向上による収益拡大
- ・病院全体の業務最適化

など、病院全体のDX推進を支援します。

また、音声認識AI「Puzzle Gen」「HAMIS」は単体での導入も可能です。
その後、院内データを活用したより高度なAI運用や病院全体のDXを進める際に、
2つを導入し、AI-HAMISへ発展させることも可能です。

また、ご来場いただいた医療機関の皆様には、会期中限定で「Puzzle Gen(単体AIモデル)」の
トライアル相談を受け付けております。

【HAMIS】

病院内のデータを一元管理し、活用することを目的とした病院の基幹システムです。
一般的な病院では病院内の部署ごとに複数のシステム開発会社の製品が導入され、データが各
所で『サイロ化（孤立化）』していることが大きな課題となっています。そのため、システムを
横断した情報収集を必要とする経営の統計作成や外部の医療機関・介護施設への情報共有には
多くの手間を要します。
その課題に対して、HAMISは電子カルテや調剤、栄養、検査、リハビリなどの基本的な部門シ
ステムを基本パッケージとして提供いたします。各部門の情報を1つのデータベースに集約する
ことで、正確なデータを収集できるため、システム同士を連携するコストをカットしながら、経
営ダッシュボードや地域連携機能、AIを活用する基盤を導入することができます。

国際モダンホスピタルショウ2026では、
地域医療の軸となる中規模ケアミックス病院※向けにHAMIS-Plus(ハミスプラス)、
地域医療を支える中小規模病院向けにHAMIS-Lite(ハミスライト)を展示致します。

※ケアミックス病院
急性期医療から慢性期・療養、リハビリテーション、在宅復帰支援まで、複数の異なる医療機能
を1つの病院で併せ持つ病院

< HAMIS-Plus >

100床～300床前後の医療機関を対象にした
病院業務を一元管理できるセミスクラッチ型※の基幹システムです。
一般的には、医療システムはパッケージで提供されており、病院がシステムに運用を合わせざる
を得ないケースが多くみられます。一方で、セミスクラッチ型のHAMISでは、病院業務のヒア
リングを通して、病院の運用に合わせた形でカスタマイズを行うため、システムと運用のミス
マッチが少ない状態で業務効率化が実現されます。

※セミスクラッチ型

既存のシステム基盤やパッケージの雛形をベースにしつつ、自社の業務フローに合わせて必要な
機能だけを個別に追加・改修する開発手法です。パッケージ型（カスタマイズが不可能な販売ス
タイル）よりも各病院ごとの業務にフィットさせやすく、フルスクラッチ型（0から病院に合わ
せて開発する手法）よりもコストを抑え、短期間で導入できます。

< HAMIS-Lite >

100床前後の医療機関と精神科病院を対象に、基幹システムをよりシンプルに導入・運営した
い、という声にお答えしてパッケージ型のHAMIS-Liteを初リリースいたします。
電子カルテや調剤、栄養、検査、リハビリなどの病院内で使用される基本的な部門システムが
含まれています。
専任のIT担当者がいない小規模病院でも、コストを下げた短期間で導入が可能になります。
また、保守窓口が1つのため、導入後のトラブル時も病院担当者が複数システム会社の調整に奔
走する手間も構造的に排除できます。

■ プレゼンテーションのお知らせ

この度当社は、本展示会事務局が主催する企画セミナー「小・中規模向け電子カルテの現在とこれからー電子カルテ情報共有サービスを見据えてー」において、登壇企業の中の1社として、プレゼンテーションを行います。

国が進める医療DXにおいて、今まさに大きな注目を集める本テーマのセッションにて、「AI時代の今知っておきたい、これからの病院に必要な病院システム」について解説いたします。当日は300名規模の来場（満員）が予想される事務局注目のステージとなりますので、ご関心のある方はぜひお早めの事前予約をお願いいたします。

【セミナー開催概要】

日時：2026年7月9日（木）12:30～14:00

場所：東京ビッグサイト 西展示棟4ホール

テーマ：小・中規模向け電子カルテの現在とこれからー電子カルテ情報共有サービスを見据えてー

想定来場者数：300名（要事前予約）

セミナーURL：https://www.noma-hs.com/module/web_page/442445/0

**7月9日（木）12:30～14:00**
小・中規模向け電子カルテの現在とこれから
ー電子カルテ情報共有サービスを見据えてー

AI搭載可能：オンプレ・クラウド選択式 電子カルテMALL ㈱メドレー 事業部長 近藤 裕希 氏 	AI時代の今知っておきたい、 これからの病院に必要な病院システムとは？ ㈱Care Bridge ヘルステックソリューション室 マネージャー 村山 穂奈美 氏 	電子カルテの導入と運用に 応える ワイズマンの取り組み ㈱ワイズマン 東日本営業部 関東統括ブロック 東京医療支店 門脇 健治 氏 
ファシリテーター 済生会神奈川県病院 経営戦略課 課長 金城 悠貴 氏 	ファシリテーター 合同会社 メディカルソリューションパートナー 代表 兵藤 敏美 氏 	電子カルテ情報共有サービスを見据えて 電子カルテ導入を検討されている 小・中規模病院様 必見！ 海外製やオンプレ型／クラウド型など、 各電子カルテの特徴やメリットを 一度にご紹介。 ここでしか聞けない特別セッションです。

また、当社ブース内でも下記の時間帯に
プレゼンテーションを実施いたしますので、奮ってご参加ください。

<ブース内プレゼン>

7月8日(水)：11:00 / 15:00

7月9日(木)：15:00

7月10日(金)：11:00

テーマ：

「電子カルテの次に求められる、“働くAI”による医療現場改革」

見どころ：

超高齢化や人材不足、コスト高騰など、厳しさを増す病院経営の中で、

AIは医療現場の課題をどこまで解決できるのか。

本講演では、電子カルテ導入後も残り続ける“記録・入力業務”の負担に着目し、
その次の進化として「働くAIカルテ」という新しい選択肢をご提案します。

AIを単なる記録支援ではなく、業務の流れの中で“戦力”として活用することで、
医療の質の向上と経営改善をどう実現できるのかご紹介します。

■国際モダンホスピタルショウ2026 概要

国際モダンホスピタルショウ2026

会期：2026年7月8日(水)～10日(金)

会場：東京ビッグサイト 西展示棟

主催：一般社団法人 日本病院会 / 一般社団法人 日本経営協会

特別協力：公益社団法人 日本看護協会

国際モダンホスピタルショウ公式HP：<https://www.noma-hs.com/>

■会社概要

【社名】 株式会社Care Bridge

【設立】 2026年6月1日

【代表】 代表取締役社長 小畑 貴志

【住所】 〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田823-7

【事業内容】

- 1) 医療情報統合システム（HAMIS等）の販売・導入・保守・サービス
- 2) 医療DX推進支援事業
- 3) メディカルスタッフ紹介事業
- 4) メディカルスタッフ向け研修事業

＜お問い合わせ先＞

株式会社Care Bridge

TEL:050-1791-6903 E-Mail:m.arase@carebridge.co.jp

担当：荒瀬